

特別支援教育推進計画学習会（第1回）グループ学習における、参加者の記載事項

実施日 令和元年10月5日(土) 会場 多摩市永山公民館(ベルブ永山)

[illegible]

3	コミュニケーション能力													
3	相手を思いやる気持ち													
3	他の障害の無い人と、コミュニケーションをとる力													
3	地域の近所のお友達をつくってほしい													
4	コミュニケーション能力													
4	ルールを守ることができること													
4	いやなことでも我慢して行う													
4	集団の中で同じように行動できる													
4	自己肯定感を高めて、自分の気持ちやできること、できないことを他者に伝える力													
4	誰にどう伝えるか													
4	コミュニケーション能力													
4	かしこまると緊張して名前が言えない、将来的に面接が不													
4	楽しくなると興奮したり大きな声を出してしまう、場面に合った対応ができるように													
4	自分の思いを伝えることができる力													
4	困難を乗り越える工夫をみにつけてほしい													
4	将来の就労や進学において早いうちから考える力													
4	毎日いきいきと学校にいてほしい。トラブルがあるといやいや登校。													
	どのような力をつけてほしいか	社会性	言語コミュニケーションを行うための個	多様性・違いを認める	自分の良さを知る、生かす	協力・協調	学力	行動力	感情のコントロール	具体的な生活スキル・自立	過程の大切さ	体力、運動健康	左記以外の力	「力」以外の記載と判断
		7	16	11	5	1	2	2	2	6	1	1	7	4

特別支援教育推進計画学習会(第1回) グループ学習における、参加者の記載事項

実施日 令和元年10月5日(土) 会場 多摩市永山公民館(ベルブ永山)

記載事項 1 どのような力をつけてほしいか
2 「1」の実現に向けて、行政や学校等に期待すること

[illegible]

3	グループでの活動													
3	一本化													
4	情緒・知的とも増やしてほしい(苦手な子と同じ中学校に行かなくてよいように)													
4	子どもの得意なこと・好きなことを増やす													
4	専門的な知識を持った先生を増やしてほしい													
4	担任が変わるたびに子どもの特性が引き出されていないように感じる													
4	通級指導(注:特別支援教室)の先生が毎年かわる。同じ先生のほうが子どものことをよくわかっているし、保護者も子供も慣れて話しやすい													
4	普段の教育の場や道徳で、保護者を含めて先生と連携し、理解し、助け合う場、声掛けや本人からのアプローチに対する受容を高めていく													
4	リソースルーム等学校に静かに休める場所がほしい													
4	感覚過敏で困っている。													
3	保護者ボランティアがあったらうれしい													
3	社会科見学で、子どもに寄り添える人がふえたらいいな。													
3	昼休みなど、先生たちが積極的に入って子どものトラブルを解消してほしい													
4	中学校・高校とどんな種類があるのかについて、小学校高学年のうちから意識できるような取組をしてほしい													
4	子ども・親・先生・地域の方で学べる場を増やしてほしい。専門の先生の講演会を学校でするなど。													
		策定委員会	学校と行政の連携強化	福祉・教育等	学級整備・施設設備	教員人事	働き方改革	地域との連携	指導力	指導内容	指導方法	保護者との連携	左記以外の力	備考
			8	6	5	7	2	3	15	5	10	9	4	